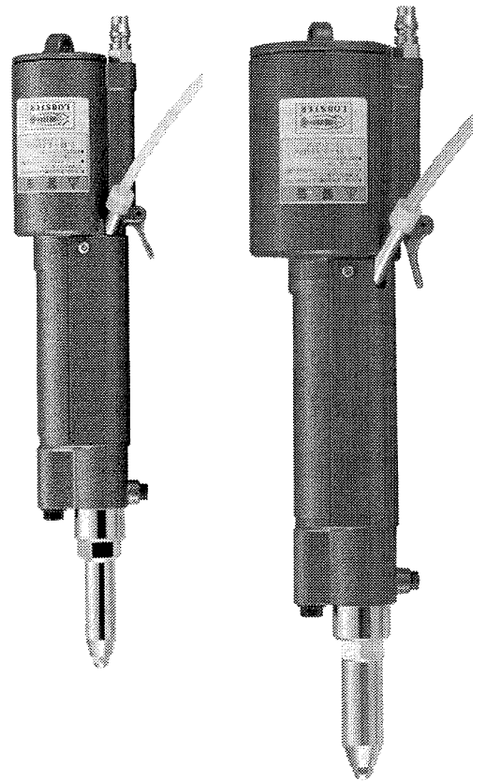
LOBSTER®

エアーリベッター

AIR RIVETER



ARV-015S
ARV-015M

取扱説明書

このたびは、エビ印エアーリベッターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用に際し本説明書を必ずよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後も大切に保管してください。
この取扱説明書は「ARV-015S」と「ARV-015M」の兼用となっておりますので、見間違いのないようにご注意ください。

本機はプロ用ブラインドリベット専用工具です。

目　　次

■安全上のご注意・・・・・・・・・1
■各部の名称・・・・・・・・・・・3
■仕　　様・・・・・・・・・・・3
■ご使用前の準備・・・・・・・・・4
■作業手順・・・・・・・・・・・・5
■保守点検のポイント・・・・・・・6
■保管の仕方・・・・・・・・・・・7
■故障かな？と思ったら・・・・・・8
■ARV015S 部品表 ・・・・・・・9
■ARV015M 部品表・・・・・・・11

ISO9001・ISO14001 認証取得　　株式会社 ロブテックス

コールセンター　TEL(0729)80-1111　FAX(0729)80-1166

営業部・大阪　〒579-8051 東大阪市瓢箪山町9-10 TEL.(0729)80-1111 FAX.(0729)80-1166
東京営業所　〒175-0082 東京都板橋区高島平2-6-4 TEL.(03)3550-3671 FAX.(0729)80-1166
名古屋営業所　〒462-0805 名古屋市北区八竜町1-40 TEL.(052)915-0431 FAX.(0729)80-1166
福岡営業所　〒812-0015 福岡市博多区山王1-7-9 TEL.(092)431-0395 FAX.(0729)80-1166
事務所　札幌・盛岡・仙台・伊勢崎・横浜・金沢・高松・岡山・広島
海外ブロック　International Marketing Dept. TEL+81(729)81-7466 FAX+81(729)81-9420
ホームページ　http://www.lobtex.co.jp/

'05.12

安全上のご注意

◆ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ十分理解されて正しく使用してください。

◆ここに示した注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 に区分していますが、それぞれの意味は下記の通りです。

> ⚠警告：誤った取扱いをした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
>
> ⚠注意：誤った取扱いをした場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的傷害のみの発生が想定される内容のご注意
>
> なお、⚠注意 に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
> いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

1. 使用空気圧は、0.49～0.59MPa（5～6kgf/cm²）を守ってください。
   ●使用空気圧を超えて使用しますと、本機が破損して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。

2. シュートホースの末端（切断されたリベットのシャフトの排出口）を絶対に人に向けないように保持してください。
   ●シュートホースの末端からは切断されたリベットのシャフトが飛び出しますので、傷害を及ぼす恐れがあります。

3. 本機の先端（ノーズピース部）を絶対にのぞかないでください。また、人に向けて作動させないでください。
   ●切断されたリベットのシャフトが排出されずに内部に残ったまま作業を行いますと、本機の先端（ノーズピース部）からシャフトが飛び出し傷害を及ぼす恐れがあります。

4. 油圧オイルを給油する際は必ずフレームヘッドをはずしてください。
   ●フレームヘッドをはずさないで給油すると余分な油圧オイルが入り、本機が破損してけがをする恐れがあります。

5. 本機をエアー源からはずす時は、エアーの供給を止めてください。
   ●圧縮空気によりエアーホースが跳ねたりして、けがをする恐れがあります。

6. 本機とエアー源との接続は確実に行ってください。
   ●カプラのオンとメンの仕様が違ったり、オンとメンが確実に接続されなかった場合、使用中にエアーホースがはずれてけがをする恐れがあります。
   ●本機と接続するエアーホースとをしっかり握った状態で接続しないと、手がすべるなどしてけがをする恐れがあります。

7. ご使用前に各部の損傷がないかをチェックし、損傷がある場合は、使用せずに修理に出してください。
   ●損傷がありながら使用しますとけがをする恐れがあります。
   ●物を落とすなどしてホースに損傷が生じますと、その部分が破損して事故やけがの原因になります。

⚠注意

1. 本機のお手入れ、部品交換等の分解時には必ずエアーの供給を止めてください。
   ●エアーが供給された状態で手入れや分解を行ないますとけがの恐れがあります。

2. 高所作業の際はご自身に安全ベルトをして、本機やリベットの落下にも注意してください。
   ●これらを怠りますと事故やけがの恐れがあります。

3. 排気孔からの排気にご注意ください。
   ●排気孔から勢いよく霧状のエアーが出る場合がありますので、目などを近づけないでください。
   ●排気孔から勢いよく霧状のエアーが出る場合がありますので、衣服品物等が汚れる恐れがあります。

4. 油圧オイル、潤滑オイル、グリス等の油類はできるだけ皮膚などに触れないようにしてください。
   ●皮膚などに炎症をひき起こす場合がありますので、触れた場合は身体から完全に洗い落としてください。

5. 整理、整頓、清掃された場所でお使いください。
   ●散らかった場所での作業は事故の恐れがあります。
   ●切断後のシャフトが床等に散乱すると足をすべらせけがをする恐れがあります。

6. 無理な姿勢で作業しないでください。
   ●転倒等、けがの恐れがあります。

7. フレームヘッドをはずした状態で本機を操作しないでください。
   ●指などをはさむ恐れがあります。

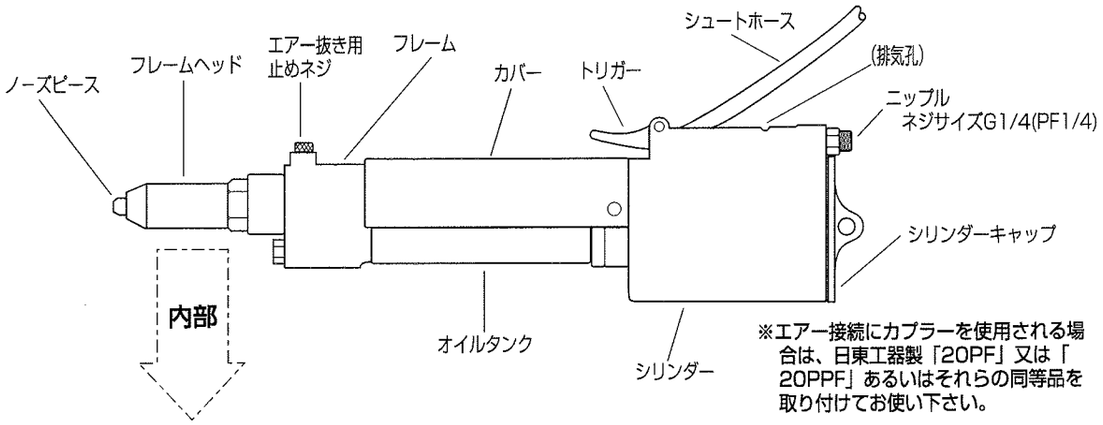
8. 本機の手入れは注意深く行なってください。
   ●付属品の交換や部品交換は取扱説明書に従ってください。けがの恐れがあります。
   ●握り部は常に乾いたきれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。けがの恐れがあります。

9. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
   ●本機を使用する場合は取扱方法、作業方法、周囲の状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をとると、事故やけがの恐れがあります。
   ●常識を働かせてください。非常識な行動をとると、事故やけがの恐れがあります。
   ●疲れている場合は使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。

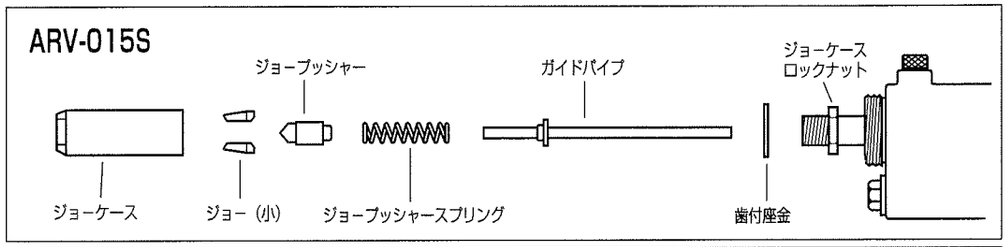
10. 本機の修理は当社にお申し付けください。
    ●修理は必ずお買い求めの販売店または、当社にお出しください。
    修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

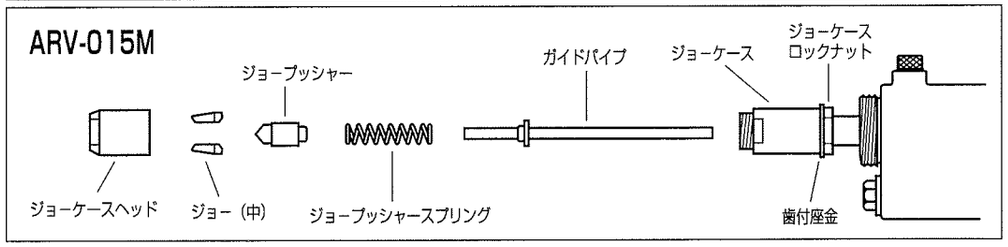
11. 本機の改造をしないでください。
    ●異常動作等事故やけがの恐れがあります。

各部の名称



※エアー接続にカプラーを使用される場合は、日東工器製「20PF」又は「20PPF」あるいはそれらの同等品を取り付けてお使い下さい。





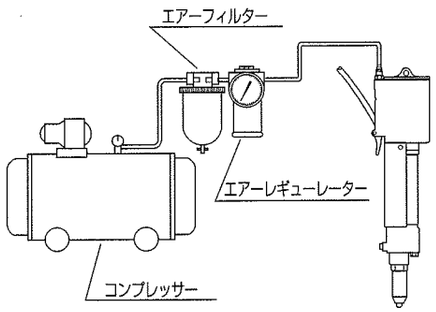
仕　様

品　番	ARV−015S	ARV−015M
重　量	1.4 kg	1.7 kg
大きさ	長さ × 幅 373 80	長さ × 幅 405 100
リベット使用可能範囲	2.4 3.2 (ステンレスのみ3.2不可)	2.4 3.2 4.0 4.8 (ステンレスのみ4.8不可)
コンプレッサー使用圧力	0.49〜0.59MPa (5〜6kgf/㎠)	
1分間あたりの空気消費量	約60ℓ／分	約100ℓ／分

※製品の仕様、デザインは予告なく変更することがあります。

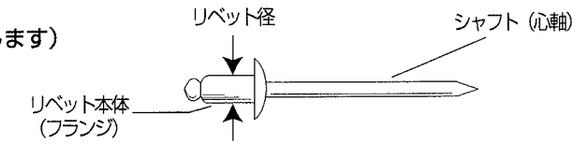
ご使用前の準備

1 コンプレッサーを用意し、エアーリベッターとの間に必ずエアーフィルター、エアーレギュレーターを取り付けてください。



2 エアーレギュレーターにより、使用空気圧を0.49〜0.59MPa (5〜6kgf/cm²) の範囲に調整してください。

3 ご使用のリベットサイズに合わせて部品を交換してください。
（リベットサイズはリベット径を指します）



交換部品の使用要領

ARV−015S

ご購入時には3.2のノーズピースがついています。
リベット径　2.4のリベッティングを行う場合は、ノーズピース2.4のみを交換して使用してください。

ARV−015M

ご購入時には3.2のノーズピースがついています。リベット使用サイズにより、下記の通りに使用してください。（交換部品組み合わせ表参照）

1)　リベット径　2.4のリベッティングを行う場合
- ●ノーズピースを2.4に交換してください。
- ●ガイドパイプをA（黄色）に交換してください。

2)　リベット径　4.0　4.8のリベッティングを行う場合
- ●ノーズピースのみをそれぞれ4.0　4.8に交換してください。

交換部品組み合わせ表

リベットサイズ	ノーズピース	ガイドパイプ	
		ARV-015S	ARV-015M
リベット径　2.4	2.4	A	A
リベット径　3.2	3.2	A	B
リベット径　4.0	4.0	—	B
リベット径　4.8	4.8	—	B

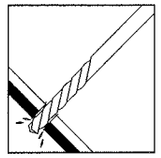
＊ガイドパイプの色による判別（A：黄色　B：白色）

作業手順

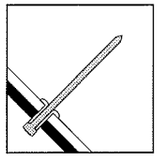
1 リベッティングする母材の厚さにあったサイズのリベットを選択してください。

2 リベットサイズに合わせて部品を交換してください。
（P4「ご使用前の準備　4」参照）

3 リベッティングする母材に正しい下穴（リベット径より0.1～0.2mm大きく）を開けてください。

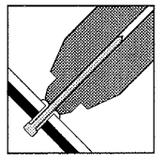


4 リベッターにリベットを挿入する。

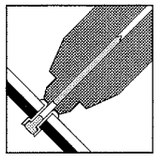


5 リベットのシャフト部にリベッターの先端を差し込む

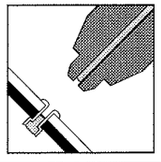
〈使用温度〉周囲温度が4℃～35℃の範囲でご使用ください。



6 リベッターの先端を母材に軽く押しあてながら
ハンドレバーを引く。



7 母材にリベット本体がリベッティングされる。



8 トリガーをはなすと、切断されたリベットのシャフトがシュートホース内を通って外部に排出される。

【要　点】■シャフトが確実に排出された後、
次のリベッティングに移ってください。

保守点検のポイント

リベッティングを長時間行うと、切粉やごみ等が各部に溜まったり、油圧オイルが減少してトラブルの原因となります。定期的に手入れを行ってください。

1.フレームヘッド内部の掃除 | 交換部品の取り替えの際も参照してください

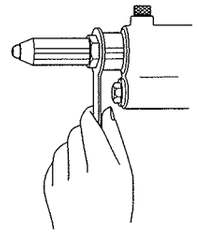
◎切粉が溜まるとジョーの円滑性が損なわれ、正常な作業ができなくなります。
◎リベッティング本数3000本に一度程度を目安に掃除してください。

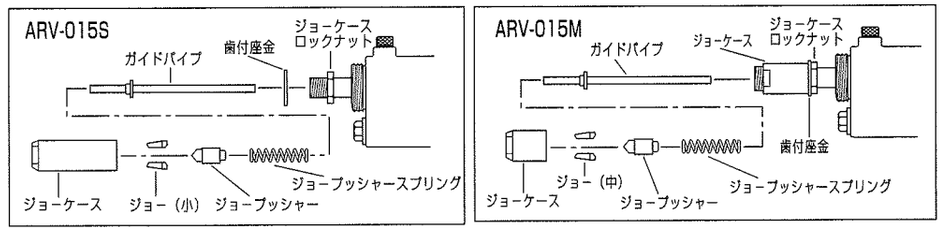
分解

1 エアーの供給を止める

2 付属のスパナAでフレームヘッドをはずす

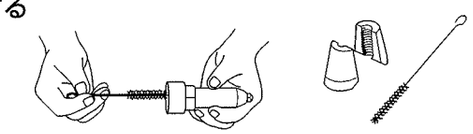
3 スパナAとBを用いてジョーケースヘッド（ARV015Sはジョーケース）をはずし内部の部品を取り出す





掃除

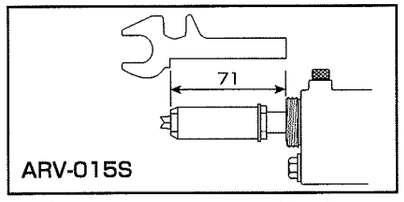
4 ブラシ等で各部品を掃除する

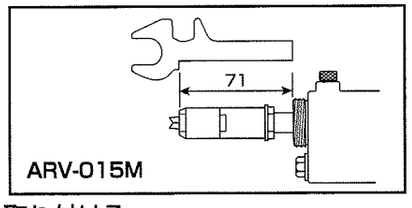


組立

5 分解の逆の手順でフレームヘッド内の部品を組み立てる
【要点】■ジョー背部にはエビ潤滑オイル（別売）を塗ってください

6 組み立て後、ジョーケース部のセット位置が正しいか図のようにスパナBで確認する。
寸法が正しくない場合は、ジョーケースロックナットを緩めて調整する。





7 付属のスパナAでフレームヘッドをしっかり取り付ける。

【要点】■組み立て時には、各摺動部には必ずグリス等の潤滑剤を塗ってください。
■部品は忘れず組み込み、締結部は確実に締めてください。
■ジョーは消耗品です。定期的に交換してください。

2.シリンダー部の掃除と給油

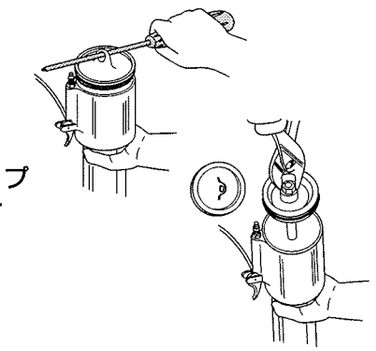
◎シリンダー部にごみ等が溜まると円滑性・耐久性に悪影響を与えます。
◎月に一度は掃除してください。合わせて油圧オイルの量も確認してください。

分解

1 エアーの供給を止める。

2 付属のスパナAでフレームヘッドをはずす。

3 モンキレンチ等を用いて、シリンダーキャップをはずし、シリンダーを上にして垂直に立てエアーピストンをプライヤ等で引き抜く。



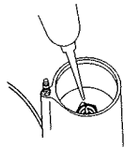
【要　点】■シリンダーを横向けると、油圧オイルがこぼれます。立てて作業してください。

掃除

4 ウエス・ブラシ等を用いて各部品を掃除する。

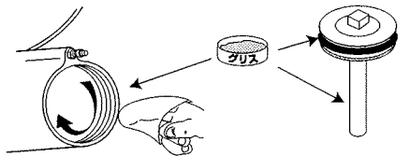
給油

5 シリンダー内の給油孔にあふれ出る寸前まで油圧オイルを給油する。



組立

6 シリンダー内面・エアーピストン部にグリスを塗ってから分解の逆の手順で組み立てる。



7 シリンダーキャップ取り付け後、ジョーケース部のセット位置の確認と調整をする。（「フレームヘッド内部の掃除」P6参照）

8 付属のスパナAでフレームヘッドをしっかり取り付ける。

【要　点】■分解、組立時に油圧オイル内及びシリンダー内に切粉、ごみ等が入らないように注意してください。

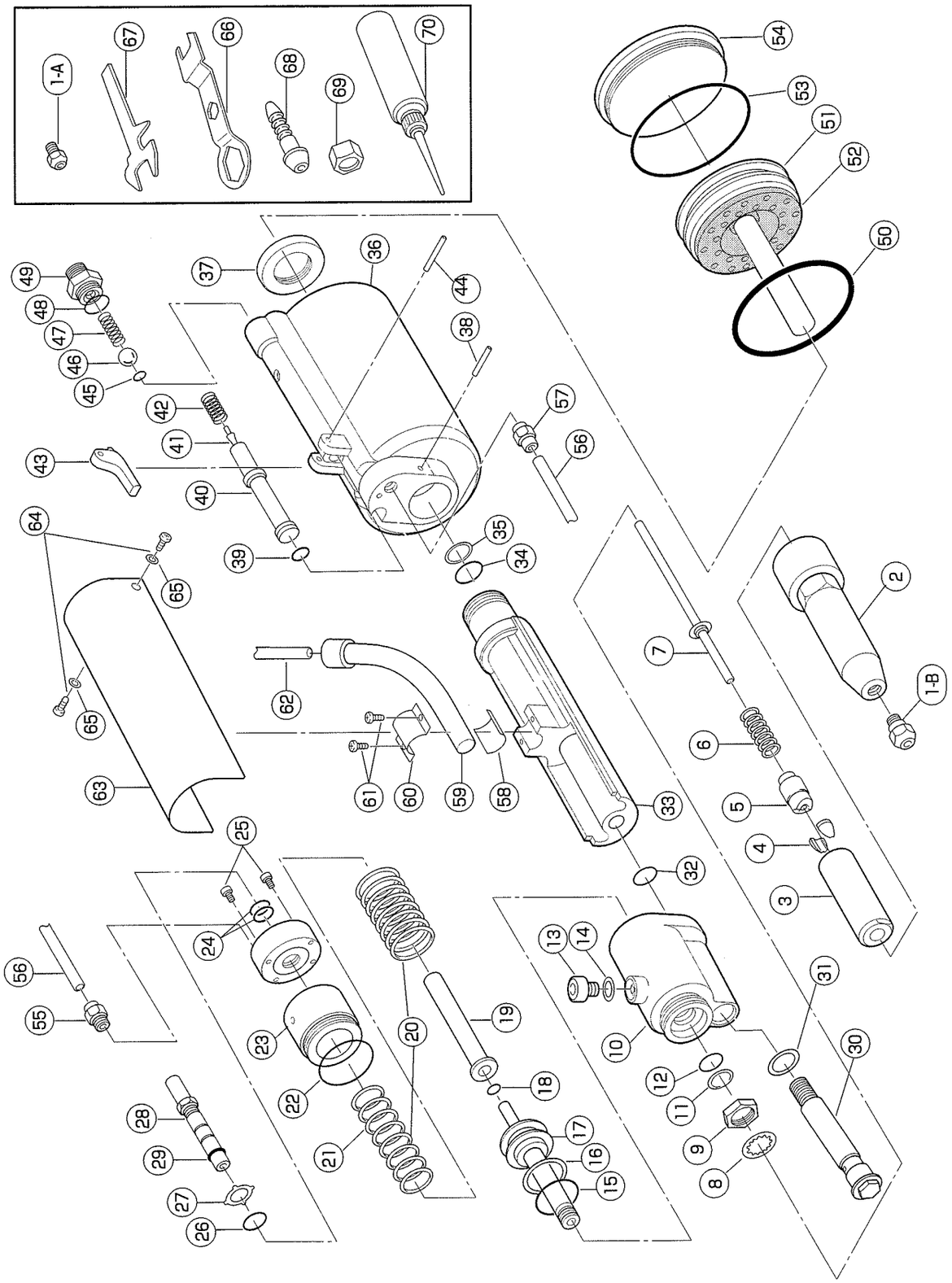
保管の仕方

●ほこりや湿気の少ない、風通しの良い、落下の恐れの無い安定した場所で保管してください。
●長時間使用しない時は各部の掃除を行なった後（P6～7「保守点検のポイント」参照）、保管してください。
●本機をより長くご使用いただくために、定期的なオーバーホール（有償）を当社にご依頼ください。オーバーホール及び修理はお買い上げの販売店、またはお近くの当社営業所までお問合せ下さい。

故障かな？と思ったら

故障とお考えの前に以下の項目のチェックをおこなってください。すべてチェックしても当てはまらない場合は当社にお問い合わせ、または修理を依頼してください。

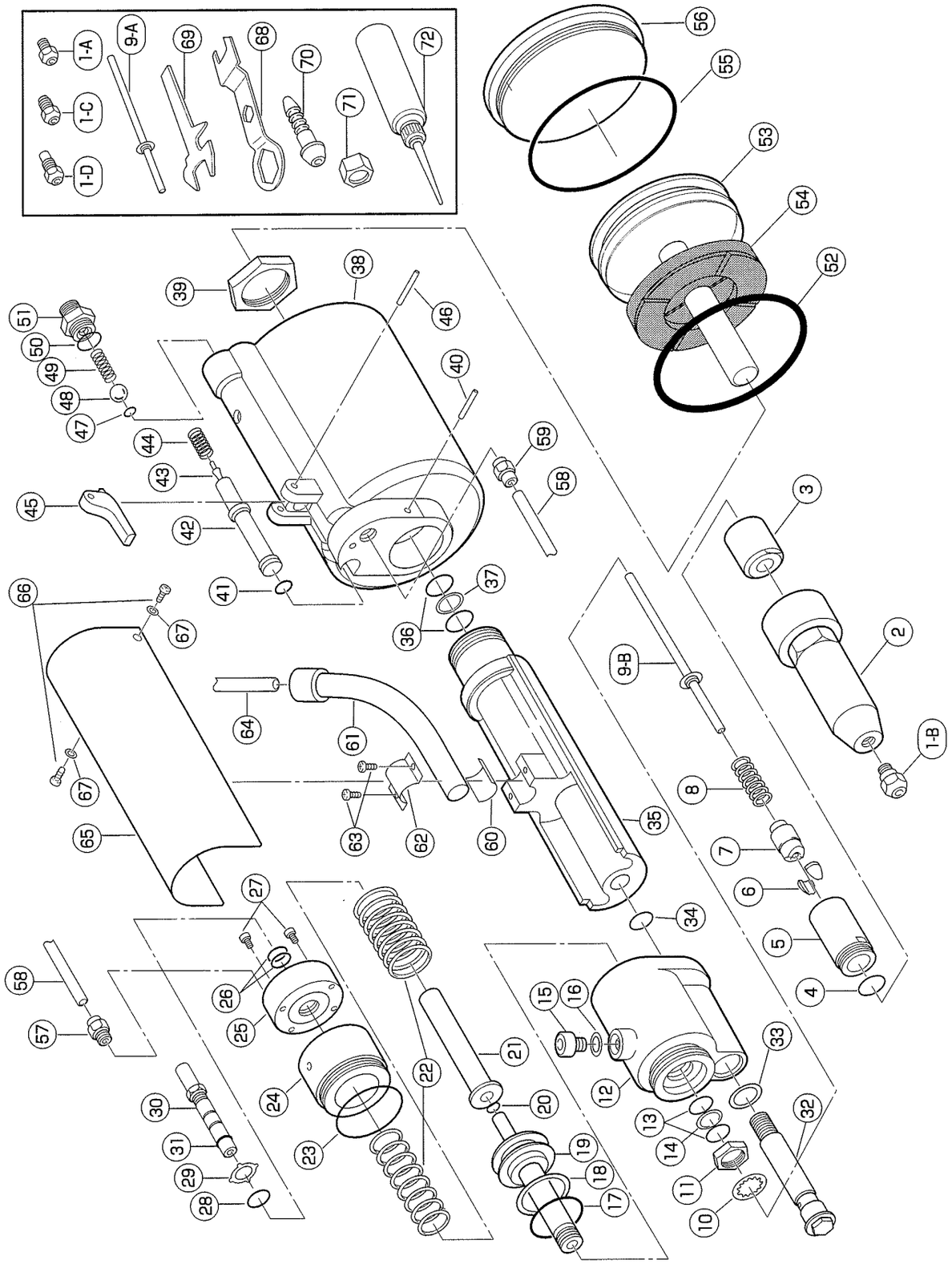
症　状	原　因	処　置
リベットが入らない。またはリベッティング後シャフトが抜けない	1.交換部品の使用ミス	1.リベットサイズに合った正しい部品に交換してください。（P4 参照）
	2.ノーズピース・フレームヘッドのゆるみ	2.スパナ A にて完全に締め付けてください。
	3.ジョーケース部の組立不良	3.ジョーケース部のセット位置を確認してください。（P6 参照）
	4.ジョーとジョーケースヘッドとの接触面の不円滑（かみつき）	4.ジョーとジョーケースヘッドの内側の掃除をしてジョー背部にエビ印潤滑油（または良質のマシン油）を塗ってください。（P6 参照）
	5.シリンダー内の汚れによりエアーピストンが定位置まで戻らない	5.シリンダー内の掃除をして、内面とOリング部にグリスを塗ってください。（P7 参照）
	6.給油ミスにより余分な油圧オイルが入っている	6.エアー抜き用止めネジを緩めて余分な油圧オイルを抜いてください。
リベッティング完了までのトリガーの操作回数が増える	1.リベットの長さが使用板厚に適していない	1.板厚に合った適正なリベットをご使用ください。
	2.コンプレッサーの空気圧が不適当	2.空気圧を調整してください。（P4 参照）
	3.ジョーケース部の組立不良	3.ジョーケース部のセット位置を確認してください。（P6 参照）
	4.ジョーが摩耗している	4.ジョーを交換してください。（P6 参照）
	5.油圧オイルの減少によるピストンストロークの減少	5.油圧オイルを給油してください。（P7 参照）
リベットの吸引力が弱く、リベッティング後シャフトが排出されない	1.シュートホースの末端（シャフトの排出口）に障害物があるなど、エアーの出口がふさがっている	1.シュートホースの末端は、シャフトが出るスペースを十分にとってください。
	2.ガイドパイプ内にシャフトが詰まっている	2.ガイドパイプを取り出し、詰まっているシャフトを取り除いてください。
	3.使用空気圧が低い	3.空気圧を調整してください。
	4.ノズルの汚れによる吸引力の低下	4.修理を依頼してください。



ARV-015S　部品表

No.	部品名	コードNo.
1-A	ノースピース　2.4	10027
1-B	ノーズピース　3.2	10028
2	フレームヘッド	10170
3	ジョーケース	10173
4	ジョー　小	10032
5	ジョープッシャー	10132
6	ジョープッシャースプリング	10133
7	ガイドパイプ　A（黄色）	14238
8	歯付座金	10148
9	ジョーケースロックナット	10113
10	フレーム（11,12付）	10340
11	Bリング　P-12	10129
12	Oリング　P-12	10128
13	エアー抜き用止めネジ　M6	10368
14	パッキン　6M	10355
15	Oリング　P-22	10180
16	Bリング　P-22	10181
17	オイルピストン	10343
18	Oリング　P-6	10150
19	アダプター	10349
20	リターニングスプリング	14200
21	Oリング　S-24	10185
22	フレームキャップ　A	10350
23	フレームキャップ　B	10351
24	Oリング　P-10	10274
25	六角穴付きボルト　M4×16	10356
26	Oリング　S-6	10220
27	ノズル用座金	10370
28	ノズルユニット（29付）	14334
29	Oリング　S-5	10276
30	連結ボルト	10365
31	パッキン　12M	10364
32	Oリング　S-10	10151
33	オイルタンク（34,35付）	14341
34	Oリング　P-12	10128
35	Bリング　P-12	10129

No.	部品名	コードNo.
36	シリンダー	10341
37	ロックナット	10348
38	スプリングピン　3×20	10251
39	Oリング　P-6	10150
40	バルブプッシャー	10345
41	Oリング　P-3	10333
42	バルブプッシャースプリング	10246
43	トリガー	10347
44	スプリングピン　3×18	10145
45	Oリング　P-6	10150
46	バルブ	10247
47	バルブスプリング	10248
48	Oリング　P-9	10219
49	ニップル	14484
50	Oリング　P-44	10182
51	エアーピストン　（52付）	14342
52	クッションゴム	10172
53	Oリング　G-50	10421
54	シリンダーキャップ	10342
55	タッチジョイント　PC4-M5	10511
56	エアーパイプ	10354
57	タッチジョイント　PC4-01	10273
58	パイプ受けシート	10369
59	パイプ	14338
60	パイプサポート	10359
61	ナベコネジ　M3	10375
62	シュートホース	10362
63	カバー	10360
64	SW付ナベコネジ　M4×8	12945
65	バネ座金　M4	15409
66	スパナ　A	10183
67	スパナ　B	10142
68	ホースジョイント1/4	10140
69	袋ナット1/4	10139
70	エビ印油圧オイル	10012



ARV-015M　部品表

No.	部品名	コードNo.
1-A	ノースピース　2.4	10027
1-B	ノーズピース　3.2	10028
1-C	ノーズピース　4.0	10029
1-D	ノーズピース　4.8	10030
2	フレームヘッド	10105
3	ジョーケースヘッド	10116
4	Oリング　S-10	10151
5	ジョーケース	10115
6	ジョー　中	10117
7	ジョープッシャー	10132
8	ジョープッシャースプリング	10133
9-A	ガイドパイプ　A (黄色)	14238
9-B	ガイドパイプ　B (白色)	14234
10	歯付座金	10148
11	ジョーケースロックナット	10113
12	フレーム(13,14付)	10372
13	Oリング　P-12	10128
14	Bリング　P-12	10129
15	エアー抜き用止めネジ　M6	10368
16	パッキン　6M	10355
17	Oリング　P-22A	10130
18	Bリング　P-22A	10131
19	オイルピストン	10241
20	Oリング　P-6	10150
21	アダプター	10377
22	リターニングスプリング	14200
23	Oリング　S-26	10153
24	フレームキャップ　A	10378
25	フレームキャップ　B	10351
26	Oリング　P-10	10274
27	六角穴付ボルト　M4×16	10356
28	Oリング　S-6	10220
29	ノズル用座金	10370
30	ノズルユニット (31付)	14324
31	Oリング　S-5	10276
32	連結ボルト	10365
33	パッキン　12M	10364
34	Oリング　S-10	10151

No.	部品名	コードNo.
35	オイルタンク (36,37付)	14344
36	Oリング　P-12	10128
37	Bリング　P-12	10129
38	シリンダー	10373
39	フレームロックナット	10112
40	スプリングピン　3×20	10251
41	Oリング　P-6	10150
42	バルブプッシャー	10345
43	Oリング　P-3	10333
44	バルブプッシャースプリング	10246
45	トリガー	10376
46	スプリングピン　3×18	10145
47	Oリング　P-6	10150
48	バルブ	10247
49	バルブスプリング	10248
50	Oリング　P-9	10219
51	ニップル	14484
52	Oリング　P-60	10134
53	エアーピストン	14218
54	クッションゴム	29736
55	Oリング　G-70	10080
56	シリンダーキャップ	10374
57	タッチジョイント　PC4-M5	10511
58	エアーパイプ	10354
59	タッチジョイント　PC4-01	10273
60	パイプ受けシート	10369
61	パイプ	14346
62	パイプサポート	10359
63	ナベコネジ　M3	10357
64	シュートホース	10381
65	カバー	10380
66	SW付ナベコネジ　M4×8	12945
67	バネ座金　M4	15409
68	スパナ　A	10141
69	スパナ　B	10142
70	ホースジョイント1/4	10140
71	袋ナット1/4	10139
72	エビ印油圧オイル	10012